

# チンゲンサイ

苗づくり期に低温になると、とう立ちすることがあります。夜間の温度は15℃以上を保ちましょう

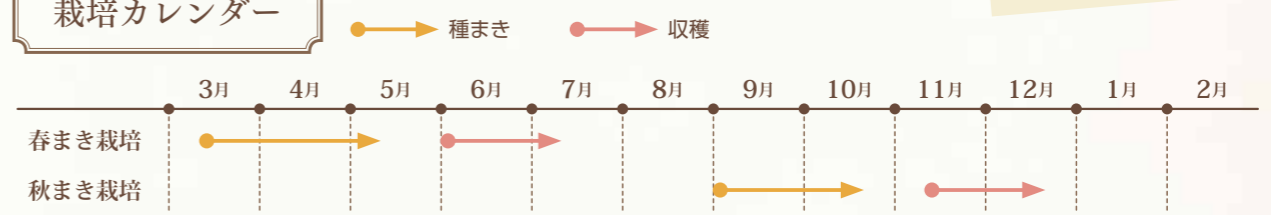


営農指導課  
山本 尚充

中国野菜で最もなじみ深く人気があるチンゲンサイ。煮ても色あせず、煮くずれしないので、料理にも最適です。冷涼な気温を好み、生育日数は春まきで50日、秋まきで60～70日で収穫できる短期野菜なので、他の作物との間作や混作しやすい野菜です。

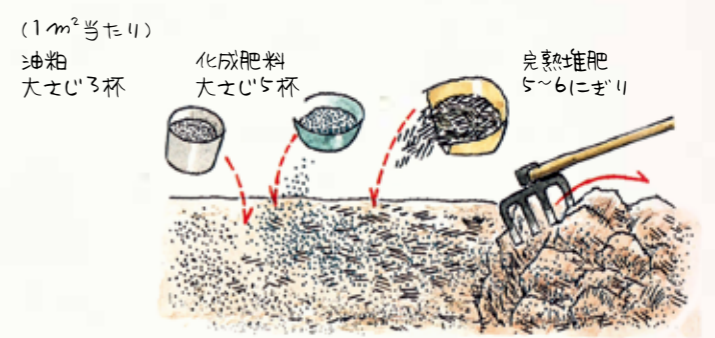
- ◇ 植物分類  
アブラナ科
- ◇ 原産国  
中国

## 栽培カレンダー



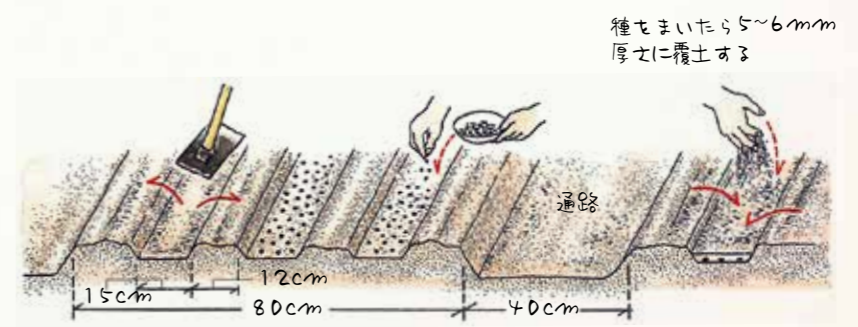
## 1 畑の準備

畑はなるべく早くに石灰をまいて耕しておき、種まきが近づいたら元肥を全面にばらまき、20cm位の深さに耕す。



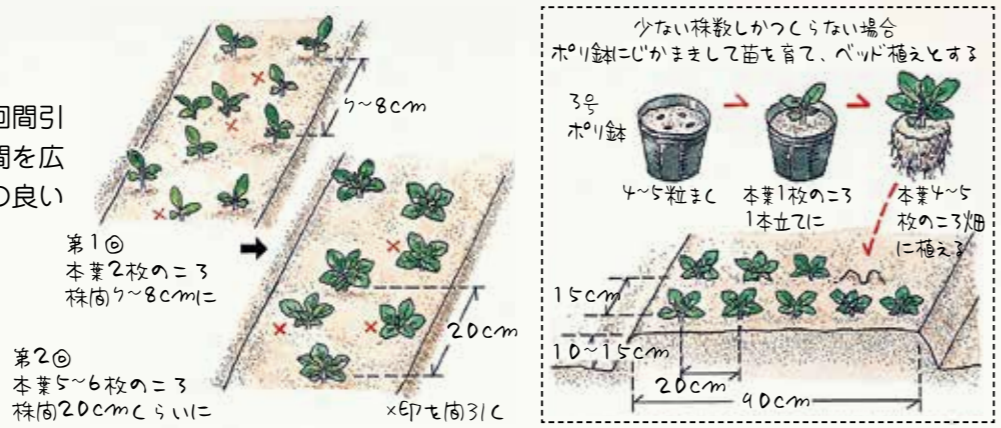
## 2 種まき

2～3cm間隔になるよう溝の全面に種をばらまく。種をまいたら5～6mm覆土する。



## 3 間引き

育つにつれて2回間引きする。最終株間を広くとり、株張りの良い株に育てる。



## 6 ポイント

12～13℃以下の低温に合うと花芽ができ、とう立ちするので、春早くにまく時や秋の遅くまで収穫する時はトンネルで保温する。



日中30℃以上にならないよう換気に留意する

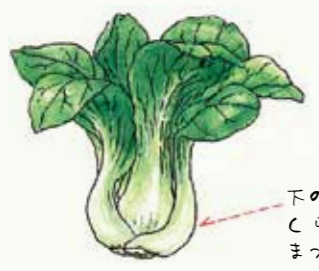
## 4 追肥

本場4～5枚のころ肥料を畝間にばらまき、軽く土に混ぜ込む。1回目をまいた半月後に2回目の追肥を畝間にばらまく。



## 7 収穫

草丈18～20cmくらいに育ったところが最適。大きくなりすぎると質が粗剛になる。



下のほうが大きくなりすぎ、胸部がしまったものが上物

## 5 害虫防除

春と秋には害虫が発生しやすいので、早いうちに捕殺する。その後、殺虫剤をかける。



## おすすめ資材

### ヨンハン カソロン粒剤4.5 ～除草剤～

水田畦畔の除草に最適な除草剤です。  
散布時期：12月～3月上旬



#### スプレーヤー（粒剤散布機）

4種類の大きさの噴板で、散布量に合わせて使い分けて下さい。均一に散布することができます。

お問い合わせは、各営農経済センターまで！

